

タイトル：夢ものがたり

サブタイトル：立体絵本を用いたインスタレーション

サマリー (250字程度) 本を読んでいると、まるで自分が物語の中に入り込んだかのような

感覚になる時がある。今回の制作は、そんな感覚を表現できたらと考えた。立体絵本に

ある特有の仕掛けや、仕込んだランプから生まれる光や陰などを利用し、展示空間の全

体を使って読書することのできる実験作品を提案する。物語の世界の中で自分は俯瞰し

て見ているのか、はたまた主人公なのか…夢を見ているような不思議な感覚に包まれて

欲しい。

形式1

※該当するチェックボックスを塗りつぶすこと。

- ☒ 個人型
- ☐ 共同型
共同チーム構成員
()
- ☒ 学科外協力なし
- ☐ 学科外協力あり
()

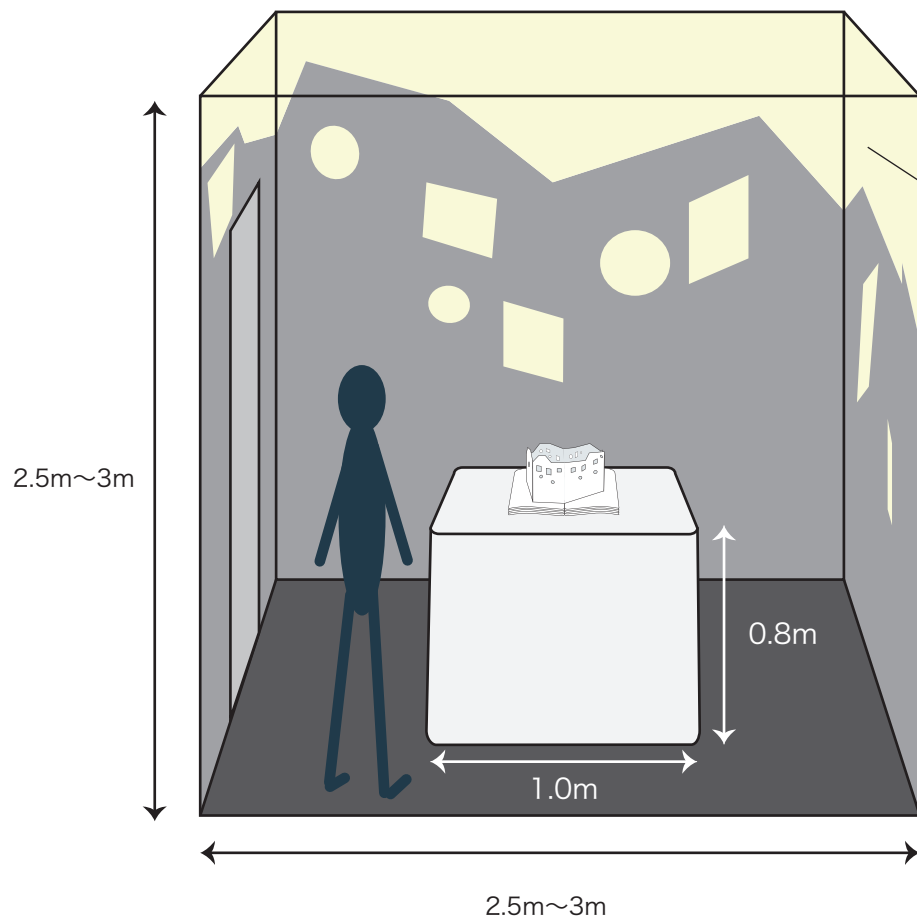
形式2

※該当するチェックボックスを塗りつぶすこと。

- ☐ 平面(タイポグラフィ、絵本、グラフィックなど)
- ☐ 論文／報告書
- ☒ 立体／空間構成
- ☐ 動画／インタラクティブ平面
- ☐ インタラクティブ立体物
- 関連する主な学問・専門領域等
()

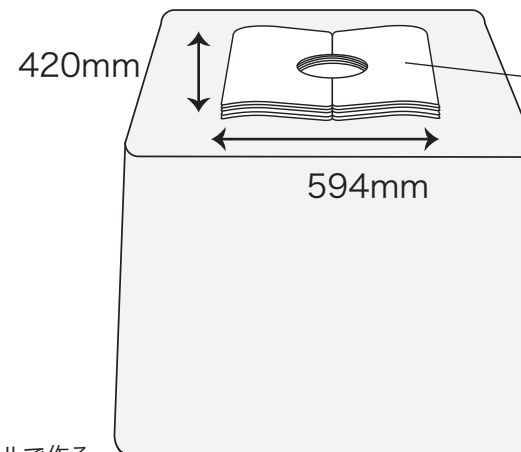
フォント:ゴシック体 サイズ:12pt

【全体図】 タスクルームGreenを想定



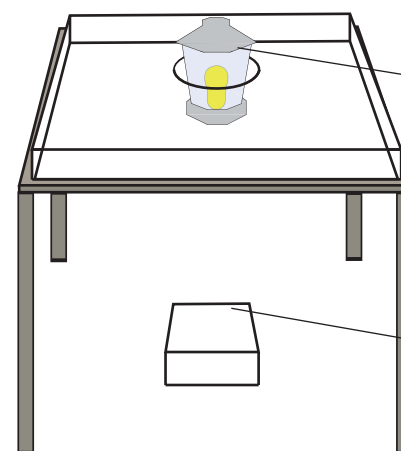
【壁】

白いボード、
又は紙を水張りしたパネルで作る



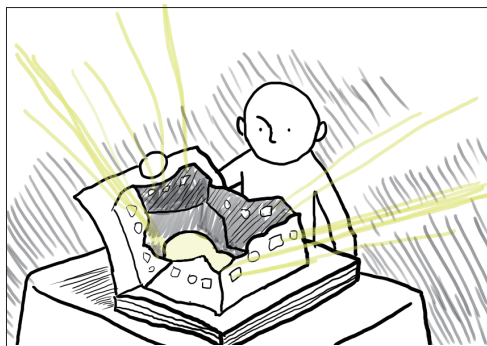
【立体絵本】

ストーリーは自作
中央はランタンを入れるための穴をあける
色付きの紙、半透明な紙なども使用
見開きA2サイズの予定

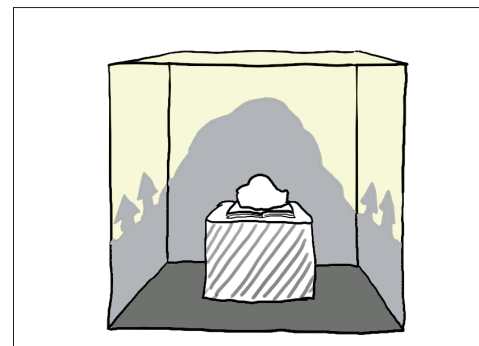


【ランタン】

【音楽スピーカー】(予定)



【立体絵本を開いた様子】



【四面に囲われた壁】

四面の壁を利用し、それぞれの面で違った展開の陰が写る



【仕掛け】

立体絵本によくある仕掛けを使い、仕掛けを動かすと陰も連動して動く



【白いボードを使った壁】

あらかじめ壁のボードに絵を描く
壁に映し出される陰と合わさって、立体絵本だけでは見えない物語を見せる